

最近の核情勢

2018年5月26日

「南北首脳会談合意」に関するRECNA見解 (2018/03/09)

- RECNAとしては朝鮮半島の緊張緩和につながる重要な一歩として歓迎する。南北首脳会談の行方は予断を許さないが、北朝鮮の非核化に向けた突破口となることを期待する。一方で、今後の北朝鮮や米国の対応を慎重に分析し、冷静に政策判断していくことが必要。
- 1. 緊張緩和につながる重要な合意
 - 板門店での開催は初めて。ホットラインの設置等緊張緩和に大きく貢献。
- 2. 非核化への「本気度」は評価が困難
 - 「本気度」の判断には、核開発プログラムの「凍結」とその検証を北朝鮮が受け入れること
- 3. 米国と日本の動向
 - 「圧力一辺倒」から「対話」への道筋をどうたてるか。日本も建設的な一手を。

<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/eyes/no12-jp>

歴史的南北首脳会談：板門店宣言 (2018/04/27)

- ①朝鮮半島の完全な非核化
- ②朝鮮戦争の終戦を2018年内に目指して停戦協定を平和協定に転換、南・北・米3者、南・北・米・中4者会談の開催を積極的に推進
- ③過去の南北宣言とあらゆる合意の徹底的な履行
- ④高位級会談、赤十字会談など当局間協議の再開
- ⑤南北共同連絡事務所を北朝鮮の開城に設置
- ⑥南北交流、往来の活性化
- ⑦鉄道、道路の南北連結事業の推進
- ⑧相手方に対する一切の敵対行為を全面的に中止し、まずは5月1日から軍事境界線一帯で実施する黄海の北方限界線一帯を平和水域にする
- ⑨接触が活性化することにより起こる軍事的問題を協議解決するため、軍事当局者会談を頻繁に開催。
- ⑩不可侵合意の再確認および遵守
- ⑪軍事的緊張を解消し、軍事的信頼を構築し段階的軍縮を行う
- ⑫首脳会談、ホットラインを定例化
- ⑬2018年秋に文在寅大統領が平壤を訪問。



写真：朝日新聞、ウェブ論座、2018年5月2日。
http://webronza.asahi.com/photo/photo.html?photo=/S2010/upload/2018043000002_1.jpg

「南北首脳会談と板門店宣言」に関する RECNA見解 (2018/05/01)

- 平和と非核化につながる第一歩として高く評価。一方、この宣言に含まれていない点については、なお慎重で冷静な分析が必要。
- 1. 朝鮮戦争の終結と「非核化」の具体的道筋が大きな焦点
 - 朝鮮戦争の終結と米朝平和協定の締結は北朝鮮が「非核化」にコミットする条件として不可欠であるが、一方で、「非核化」の具体的道筋（段階的廃棄プロセス、検証の仕組み等）も米朝対談等で明らかにされる必要
- 2. 多国間対話枠組みの早期確立と日朝国交正常化を
 - イラン核合意の教訓を踏まえると、北東アジア全体の安全保障を議論するうえでも、合意内容の実施プロセスの検証や、合意違反を抑止する面からも、多国間対話枠組みは有用
 - 日朝国交正常化をはかり、平和条約の締結に向けた二国間交渉を始めるべき。
- 3. 米朝でも危機管理システムの構築・維持を
 - 米朝においても同様の危機管理システムの構築・維持が求められる。

<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/eyes/no13-jp>

RECNA提言：北東アジア非核兵器地帯設立への包括的アプローチ（2015年3月）

1. 朝鮮戦争の戦争状態の終結を宣言し、「枠組み協定」締約国の相互不可侵・友好・主権平等などを規定する。
2. 核を含むすべての形態のエネルギーにアクセスする平等の権利を謳う。「北東アジアにおけるエネルギー協力委員会」を設置。宇宙技術開発の権利も保証。
3. 北東アジア非核兵器地帯条約締結に合意。
 - 「スリー・プラス・スリー」（韓国、北朝鮮、日本の「地帯内国家」と米国、中国、ロシアの「周辺核兵器国」）の6か国条約。周辺各核保有国が地帯内国家に核兵器による脅威、攻撃を与えない。これにより「拡大核抑止力（核の傘）」が不要となる。
4. 常設の北東アジア安全保障協議会を設置する



2020年NPT再検討会議準備委員会：総括 (2018/05/06)

- 成果ないまま課題を残して終了。
- 対立は解けず、逆に溝は深まった。
 - このままでは、対立を残したまま2020年を迎えることになりそうだ。それを避けるためには、今後は「溝を埋める」議論が必要。
- 再確認されたNPTの重要性と課題
 - とくにイラン核合意（JCPOA）については、「離脱」の懸念があるトランプ政権に対し、多くの国が合意維持の重要性を強調。
 - 「市民社会の参加」と「核軍縮・不拡散教育」の重要性。
- 朝鮮半島の非核化
 - 北朝鮮の非核化にとどまらず、朝鮮半島の非核化を進めることは、当然ながら「核の傘」をめぐる議論につながる。

<https://2018nptblogrecna.wordpress.com/author/2018nptblogrecna/>

米、イラン核合意離脱の影響ートランプ外交の無謀な賭け

(鈴木達治郎、Web論座、2018/05/14)

<http://webronza.asahi.com/science/articles/2018051100006.html>

- 「**最悪の決定**」が与える米朝核交渉への大きな影響
- イラン核合意の内容
 1. 濃縮活動の制限（15年間）、現在ある在庫は処分
 2. 再処理活動停止（15年間）、プルトニウム生産炉は改造
 3. 透明性信頼醸成措置の強化、追加議定書批准、過去の軍事施設へのアクセスも可能
 4. それに見合った制裁解除
- 米国にとってのリスク、欧州は合意維持、イランは様子見
 - 米国に対する不信感は即核保有国への不信感につながる。
- 米朝核交渉に与える影響
 - イラン核合意を一つの良い前例としてみていた。